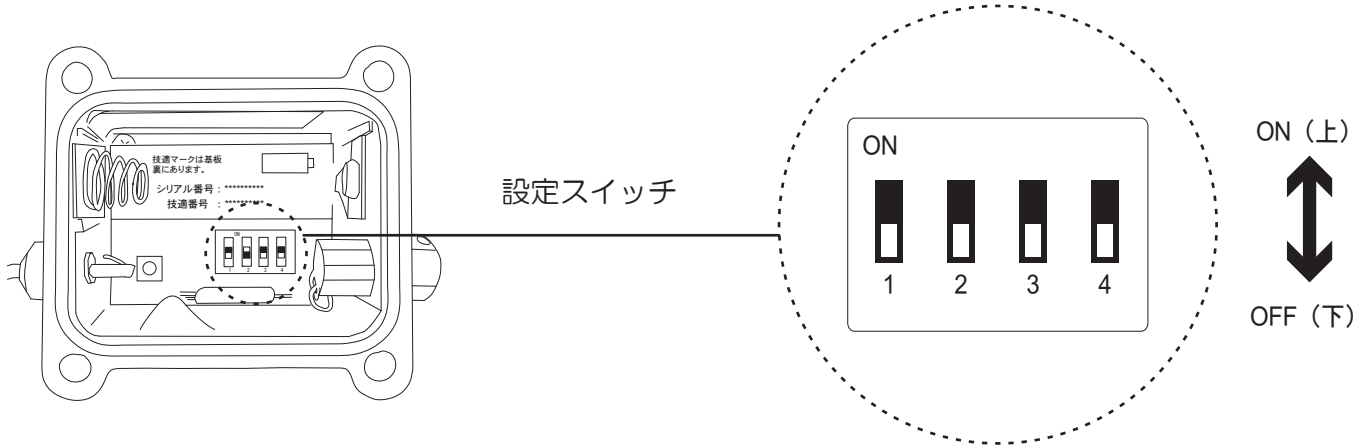


PL5000簡単設定ガイド

● 送信モードの切替・周波数(チャンネル)の設定方法

下図設定スイッチで送信モードの切替・周波数(チャンネル)の設定を行います。

- スwitchの切替はピンセット等、先が細いものをご使用下さい。
- 変更後は必ず使用前に、一度発信してご確認下さい。



● 送信モードの切替

設定スイッチ1で切替します。

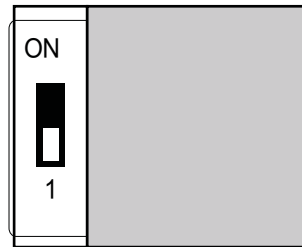
- スwitch1をON(上)にすると、間欠送信になります。
- スwitch1をOFF(下)にすると、連続送信になります。

※ 出荷時は、連続送信にセットされています。

間欠送信 ON(上)	3秒発信、5秒停止を6時間繰り返し、以降節電モード※に切替わります。
連続送信 OFF(下)	6時間連続送信後、節電モード※に切替わります。

※ 節電モードは3秒発信、10秒停止の繰り返しとなります。

間欠送信



ON (上)
OFF (下)

連続送信

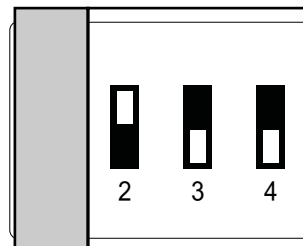
● 周波数(チャンネル)の設定

設定スイッチ2・3・4の組み合わせで設定します。

- ご使用になる周波数(チャンネル)を下表を確認の上、設定して下さい。

※ 出荷時は、142.94MHz(CH1)にセットされています。

周波数	スイッチ2	スイッチ3	スイッチ4	スイッチ方向
142.94MHz CH1	ON(上)	OFF(下)	OFF(下)	↑ ↓ ↓
142.95MHz CH2	OFF(下)	ON(上)	OFF(下)	↓ ↑ ↓
142.96MHz CH3	ON(上)	ON(上)	OFF(下)	↑ ↑ ↓
142.97MHz CH4	OFF(下)	OFF(下)	ON(上)	↓ ↓ ↑
142.98MHz CH5	OFF(下)	ON(上)	ON(上)	↓ ↑ ↑



ON (上)
OFF (下)

PL5000新機能

● 電池残量警告機能

電池寿命が近づいてきたらアラーム(ピピピー)が鳴り、3秒発信、10秒停止に切り替わった後、約20時間後に発信停止します。電池交換時期の目安にして下さい。

電池寿命は下記の通りです。(新品電池使用開始時から) ※電池容量=1400mAh(公称) 使用しての弊社実験値

発信モード	発信	電池消耗警告機能
連続送信	電源ONから約6時間連続送信し、以降3秒発信、10秒停止の間欠送信	約55時間後にアラームが鳴り初め、約75時間後に発信停止します。
間欠送信	電源ONから約6時間3秒発信、5秒停止を繰り返し、以降3秒発信、10秒停止の間欠送信	約95時間後にアラームが鳴り初め、約115時間後に発信停止します。

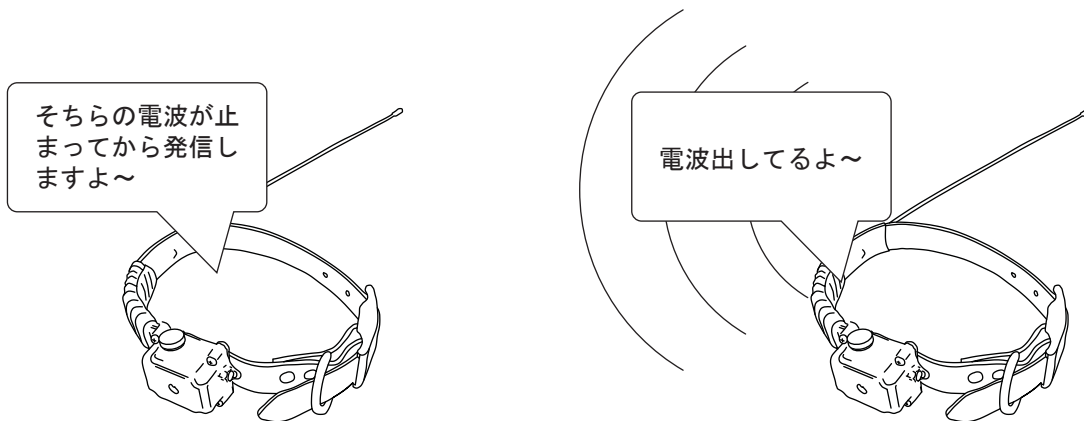
● ID送出機能(専用受信機使用)

PL5000にはID(固有識別番号)があります。連続送信の場合は、10分間に1回、間欠送信の場合は8秒に1回 ID が送出されます。※ 表示にはオプションの専用受信機(LR-O3 別売)が必要です。

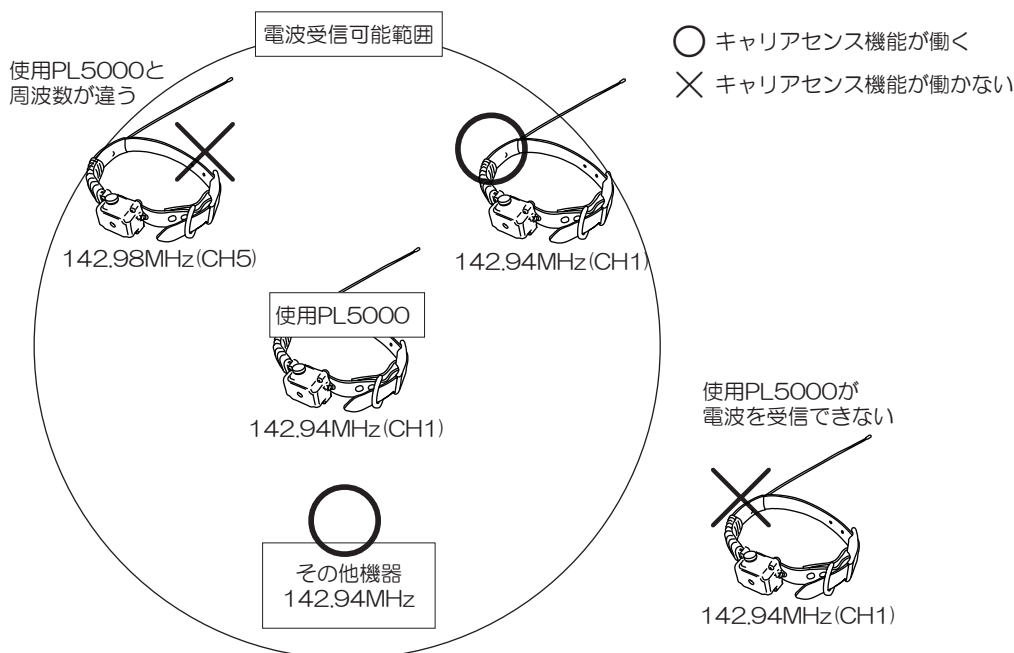
- 専用受信機(LR-O3 別売)を使って、受信機のディスプレイに表示させる事ができます。
- 紛失した場合でも電波が受信できれば、自分のPL5000かどうか確認ができます。

● キャリアセンス機能

PL5000は電波を発射する前に使用周波数(チャンネル)を他の機器が使用中かどうかを確認し、使用中でなければ送信します。間欠送信にてお使いになる場合、複数台のPL5000が混信しにくい状況でお使い頂けます。



同一チャンネルで複数台のPL5000を使用する場合等に便利です



注意

キャリアセンス機能は、使用するPL5000が同一周波数で他機器からの電波を受信できなければ機能しません。周波数が違ったり、使用するPL5000に電波が届かない機器には機能しません。